

○日 時：令和4年10月25日（火） 第5校時（13：40～14：25）  
 ○場 所：体育館  
 ○学 年：第5学年2組  
 ○単元名：わがまち「ふるさと」PR大作戦

単元の見直し

人口減少や休耕田の増加等の問題を抱える昭和地区において、町の活性化に取り組む人々と関わりながら、昭和地区の魅力を広める活動を通して、昭和地区の「明るく元気な町づくり」の在り方について考えるとともに、自分たちにできることを考え、地域の一員として進んで参画しようとする事ができる。

児童生徒の実態

- (1) ふるさとのよさを認識している児童は多数いるが、昭和地区のまちづくりのために地域の人々が取り組んでいることを知っている児童は少ない。（肯定的評価 41.6%）
- (2) 令和4年度広島県児童生徒学習意識等調査では、「調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。」と肯定的回答をした児童は76.7%であった。情報収集したことについて、整理・分析し、まとめる経験が十分ではない。
- (3) 令和4年度広島県児童生徒学習意識等調査では、「自分の住んでいる地域が好きです。」と肯定的回答をした児童は94.8%いる一方で、「地域や子供会などの行事に参加しています。」では、肯定的回答が68.9%で、地域活動への参画意識が低い。

目指す具体の姿<育成を目指す資質・能力>

- (1) 知識及び技能
  - ① 地域では、活性化に向け昭和地区の特色を生かした様々な取組が行われており、地域の人と協働してまちづくりに参画することが持続可能なまちづくりにつながることを理解している。
  - ② 地域の人にインタビュー活動を行ったり、アンケートをとったりしたことを図、グラフ、表などにまとめている。
- (2) 思考力、判断力、表現力等 ルーブリックステージ中期
  - ① 地域の人にインタビューして得た情報を整理し、地域活性化に向けて自分たちができていることを考えている。
  - ② 課題解決に向けて複数の事柄や資料などを関連付け、根拠を基に簡潔・明瞭・的確に自分の考えを表現している。
- (3) 主体性・協働する力 ルーブリックステージ中期
  - ① 課題の解決に向けて、友達や地域の方など多様なメンバーと協働して取り組もうとしている。

本質的な問い

わたしたちは、地域とどう関わり、地域の一員としてどう生きるのか。

単元を貫く問い

わたしたちが暮らす地域の発展に向け、自分たちに何ができるだろうか。

【探究課題 町づくりや地域の活性化のために取り組んでいる人々や組織】

（単元導入のためのしかけ） 昨年度の5年生が、総合的な学習の時間に作成した『あきさかり』の米レシピやプレゼン資料を見せることで、学習の見通しをもたせる。社会科「米作りのさかんな地域」と関連させ、米作り体験を通して、地域の人の農業に対する思いや地域への愛着に気付かせる。また、まちおこしをされている地域の方や昭和まちづくり協議会の思いを知る中で、自分たちもまちづくりに参画したいという思いをつなげる。

【第3次】（30 時間）

大人（家族、地域の人）

課題 地域のために自分たちができていることを実行しよう。 地域企業

個別の問い

- ・取り組んだことの成果と課題は何か。
- ・今後、地域で暮らしていく上で、大切にしたい自分の生き方とは何か。

教科等において関連する資質能力（単元名）

国語科2B(1)エ C(1)ウ  
（和の文化について調べよう）

家庭科 B(2)イ  
（食べて元気に）

算数科 B(3)ア C(2)ア  
（面積）（単位量当たりの大きさ）

【第2次】（25 時間）

自治会会長さん

課題 地域の人の思いや願いを基に、自分たちに何ができるか考えよう。

個別の問い

- ・まちづくり協議会の方の願いは何か。
- ・まちおこしをされている方の願いは何か。
- ・まちの活性化のために、自分たちに実行できることは何か。
- ・まちの活性化のために、どのアイデアが効果的で実現可能か。

昭和まちづくり協議会

教科等において関連する資質能力（単元名）

国語科 A(1)イ  
（資料を見て考えたことを話そう）

社会科(2)イ(イ)  
（これからの食料生産とわたしたち）

図画工作科 A(2)ア  
（あったらいい町、どんな町）

算数科D(1)ア(割合)  
道徳科 C16  
（歴史のみえる丘から見えたもの）

【第1次】（15 時間）

課題 6年生の思いを引き継ぎ、自分たちに何ができるか考えよう。

個別の問い

- ・6年生の思いは何か。
- ・地域の方の思いは何か。
- ・「ふるさと」のよさは何か。
- ・昭和地区のまちづくりで、自分たちにできることは何か。

6年生

地域の米作り名人

教科等において関連する資質能力（単元名）

国語科 2B(1)エ  
（環境問題について報告しよう）

社会科(2)ア(イ)  
（米作りのさかんな地域）

国語科 A(1)エ  
（知りたいことを聞き出そう）

○ 指導と評価の計画（全 70 時間）

次	学習活動	評価			
		知	思	主	評価方法
一	<b>課題設定 (3)</b> ○ 6年生が作成した「あきさかりのPRプレゼン」を見て、その思いを知り、今後の活動の見直しをもつ。	①			行動観察 振り返りの分析
	<b>情報収集 (3)</b> → <b>整理・分析 (2)</b> ○ 田植えを通して、米作りについて知り、疑問に思ったことを出し合う。		①		行動観察
	<b>整理・分析 (5)</b> ○ 疑問に思ったことを調べたり、解決したりする。(コシヒカリとの違いについて調べる、米作りについて疑問に思ったことについてインタビューを行う。)	②			行動観察 振り返りの分析
	<b>振り返り (1) 課題設定 (1)</b> ○ これまでの学習を振り返り、課題を設定する。		①		振り返りの分析・
二	<b>情報収集 (4)</b> ○ 昭和地区のよさや課題について調べ、まとめる。	②			思考ツールの分析
	<b>情報収集 (3)</b> ○ 昭和地区のまちづくりに関わっておられる方の思いや願いを知る。		①		行動観察 振り返りの分析
	<b>整理・分析 (6)</b> ○ 地域の方々にインタビューをして分かったことを整理し、地域活性化に向けて自分たちが実行できることを考える。		②		行動観察 振り返りの分析
	<b>整理・分析 (3)</b> → <b>課題発見 (2)</b> ○ 実現可能で効果的なアイデアについて話し合う。		②		共有ノート 行動観察 振り返りの分析
	<b>整理・分析 (4)</b> ○ 自分たちが考えたアイデアについて、地域の方にアドバイスをいただき、再考する。	①			振り返りの分析 行動観察
	<b>振り返り (1)</b> → <b>課題設定 (2)</b> ○ これまでの活動を振り返り、実現化に向けて計画を立てる。		①		行動観察・記述の分析
三	<b>整理・分析 (4)</b> ○ 地域の活性化に向けてできることの実行に向けて準備を行う。			①	記述の分析 行動観察
	<b>まとめ・表現 (1 6)</b> ○ 計画を立て、実行する。		②		行動観察 記述の分析
	<b>情報収集 (4)</b> → <b>振り返り (1)</b> ○ 地域の人へアンケートを実施するなどし、活動を振り返る。	②			記述の分析・行動観察
	<b>整理・分析 (2)</b> → <b>まとめ・表現 (2)</b> ○ 活動の成果と課題を話し合い、継続してできるまちづくりについて考える。		②		記述の分析 行動観察
	<b>振り返り (1)</b> ○ 「元気で楽しいまちづくり」にこれからも取り組むために、自分にできることを考える。			①	記述の分析 行動観察

○ 指導の手立て

- ・ 「情報収集」の後、「整理・分析」の場面では、図や表やグラフにまとめる活動を行うようにする。また、グループ内で意見を検討する際には、視点を明確にし、思考ツール等を活用することを通して、考えを深めさせるようにする。
  - ・ まちづくりに尽力されている地域の人や、自分たちが考えた取組に協力してくださる人たちとの関係を自覚させることによって、自分たちもまちづくりに関わっているという自己有用感を高める。
- ＜児童生徒の発達をどのように支援するか＞
- ・ 思考が深まらないことが予想できる児童には、考えをもつことができるようあらかじめ助言をしたり、相談・確認タイムを随時設けたりする。

シンキング

ヒューマン

○ 本時の目標(32 / 70)

昭和地区の魅力を PR する方法として出し合った案の中から、どのアイデアが実現可能で、より効果的か、根拠を明確にして精選することができる。

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) と評価規準 (※) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)
課題の設定	1 本時のめあてを確認する。	◇ 前時までに、昭和地区の魅力について確認し、それらを PR する方法についてグループで出し合っておく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然が豊かなことをポスターやチラシで PR する。</li> <li>・ 栃原の里のポスターをコンビニに貼る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【めあて】 昭和地区の魅力を PR する方法を絞り込もう。 視点 1 実現可能か 視点 2 効果的か</p> </div>
整理・分析	2 グループ内で検討する。  3 全体で検討する。	◇ 「効果的」とは、「昭和区の魅力が伝わるものか」「PR する相手に合った方法かどうか」であることを確認する。 ◆ 自分の考えをもちにくい児童には、あらかじめ助言をし、考えをもたせておく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 絞り込むための視点を示した上で、思考ツールを活用し、作業をしながら話し合いができるようにする。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">シンキング</span></p> </div> ◇ ピラミッドチャートなどの思考ツールを活用し、実現可能で効果的なアイデアを一つか二つに絞らせ、その理由を明確にする。 ◇ 絞った案について共有させる。 ◇ 「昭和地区の魅力が伝わるものか」「PR する相手に合った方法かどうか」の視点を再度確認し、自分たちの考えを再考させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>発問</b> 20代から30代の人に PR する方法として、ふさわしいのはどれだろうか。</p> </div> ◇ 「地域の方の思いが活かされているかどうか」について新たな視点を示し、再考させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ まちづくりに尽力されている地域の人や、自分たちが考えた取組に協力してくださる人たちとの関係を自覚させることによって、自分たちもまちづくりをしているという自己有用感を高める。 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">ヒューマン</span></p> </div> ※ 自分で整理した内容を基に、グループで話し合い、根拠を明らかにした上で、考えを精選している。 (記述の分析・行動観察)

振り返り	4 本時を振り返り，次時の見通しをもつ。	◇ 話し合いを通して変容した自分について振り返らせ，「学びのレシピ」に記述させる。
	<p><b>【振り返りの例】</b> きよみんのエコバックを作って，ふれあいフェスタで売れば，昭和地区の魅力を知ってもらえると思った。でも，ふれあいフェスタは昭和地域の祭りなので，広島県の人たちに知ってもらうことは難しいと思った。若い人たちが昭和地域に来てくれるように，魅力をPRする場所についてもっと考えていきたい。地域の人とさらに相談しながら，明るく元気なまちづくりに自分たちも参加したい。</p>	

1 「本質的な問い」による単元構想について

- 1学期は、前年度の取組を5年生のプレゼンテーションを見て知ることから始めた。昭和地区では、あきさかりという米が作られていることを知り、自分たちも米作りを行った。その後、米作りに関して地域の人に話を聞くことで、米作りを行う際の思いに触れることができた。そのため、1学期末の振り返りには、「自然が豊かなことを知ってほしい。」「あきさかりをもっといろいろな人に知ってほしい。」など米作りに関する振り返りが多かった。本質的な問いに対し、より自分事として捉えることができるように、2学期は、昭和地区のまちづくりに携わっておられる人に「昭和地区の魅力や課題」について話を聞かせていただいた。聞いたことをPMIシートに整理し、「昭和地区の魅力と課題」を明らかにした。さらに、保護者にも「昭和地区の魅力と課題」についてアンケートを取り、視点を広げた。魅力と課題を明らかにしたことで、より明確に本質的な問いについて考えることができるようになった。また、学習の成果を学習発表会で発表する場を設定したことで、考えを深めることができた。2学期の振り返りでは、「子供たちだけではできないことも、地域の方の力を借りてイベントを開催して、この町っていいね!とってもらえるようにしたい。」「PRをするターゲットの人たちは、どんなことをしてほしいか考えてPRしていきたい。」など、自分がまちづくりに積極的に関わっていききたいと考えるような内容が多く見られた。

2 単元で育成を目指す資質・能力について

資質・能力	アンケート項目	6月	12月
知識・技能	昭和地区のまちづくりのために、特色を生かした取り組みが行われていることを知っています。	41.6%	100%
思考・判断・表現	調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	76.7%	100%
主体的に学習に取り組む態度	自分の住んでいる地域のことが好きです。	94.8%	100%
	地域や子供会などの行事に参加しています。(参加していきたい)	68.9%	84.8%

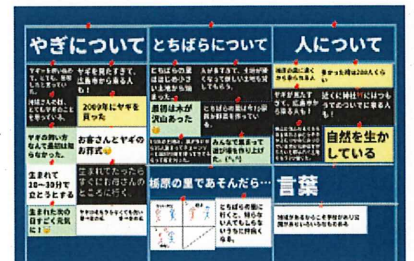
育成を目指す資質・能力に関する児童アンケート結果

【知識・技能】

- 1学期と2学期に総合的な学習の時間に関するアンケートを行った結果、2学期末には「昭和地区のまちづくりのために、特色を生かした取組が行われていることを知っている。」と全員が肯定的に評価した。要因として、地域の方の取組を見たり聞いたりしたことが挙げられる。地域の方が造った公園の存在を知らなかった児童が、保護者と遊びに行ったり、地域の行事について情報を見付け行事に参加したりする姿が見られた。

【思考・判断・表現】

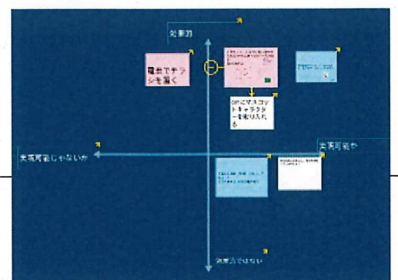
- 地域の人から聞いた話は、思考ツールを使って整理する活動を繰り返した。思考ツールを指定しなくても、自分たちで適切だと考えるツールを使って整理する児童も増えてきた。
- 整理する活動を行う際には、グループでの活動が多く、適切な思考ツールを活用し、整理分析する資質・能力に差が見られる。



地域の人から聞いた話をグループで整理したもの

【主体的に学習に取り組む態度】

- 昭和地区の課題を基に「自分たちに何ができるか」について考える際、「少子高齢化を食い止めるために20～30代の人が昭和地区に住みたいと思ってくれるようなまちづくりをしよう。」と考え、昭和地区の魅力や課題をPRするターゲットを「20代から30代の若者」と限定したことで話し合いが深まりやすかった。



ロイロノートの共有ノート機能を使って話し合いを行った思考ツール

3 「デジタル機器」の活用

- グループでの話し合いにおいて、ロイロノートの共有ノート機能を使い、自分の考えを動かしながら話し合いができるようにした。動かしたり、付け加えたりすることで思考を深めることにつながった。